

南高不落



北海道南幌高等学校

空知郡南幌町元町3丁目2番1号

電話 011-378-2248 F A X 011-378-2629

[http:// www. nanporo. hokkaido- c. ed. jp](http://www.nanporo.hokkaido-c.ed.jp)

南幌高校の折々

学校の行事や生徒の取組を紹介します

国際交流事業海外研修

今年度は、3年毎に実施されている海外研修の実施年度です。今回は南半球のオーストラリア東海岸のブリスベンとゴールドコーストに新年1月5日から11日まで7日間の日程で語学研修を中心に行われます。1～3年生から5名の生徒が派遣されます。今回から海外研修事業費の1/3が南幌町より補助されることになり、充実した研修となることが期待されています。



【左】

第1回海外研修派遣生徒・保護者説明会
研修の目的や今後の予定等が説明されました。

【右】

海外研修事前学習会
南幌町のALTから英語・英会話を学んでいます。

第14回 いもいも・キャベッジマラソン in 南幌 10月8日(土)



天候が心配されましたが、キャベッジマラソンが10月8日に開催されました。小中学生、一般参加など約230名が3km、5km、9kmのコースに分かれ健脚を競いました。スタート前は肌寒い感じもいましたが、小雨も止み、風もなくマラソンとしてはまずまずのコンディションの中で行われました。14回を数えるマラソン大会ですが、今回は初めて生徒全員が完走し、爽やかに充実感のある汗を流しました。参加者全員に参加賞である南幌キャベツが配られ、無事に終わることができました。

後期生徒会役員認証式 10月13日



全校生徒に信任され、後期生徒会役員となった10名に尾形雅史校長より認証状が手渡されました。認証状を手にした生徒を代表して生徒会長となった久保武蔵くん(南幌中出)は、挨拶の中で良き学校をつくり、楽しい学校行事となるように決意を伝え、そのためには生徒の協力が欠かせないと呼び掛けるました。また、尾形校長からは前任の高谷克希生徒会長の労をねぎらい、新執行部への期待と信任した生徒にも新生徒会への協力する自覚と責任が必要との言葉がありました。

生徒会長 久保武蔵(南幌中出)
副会長 中田慎子(南幌中出)
園木玲菜(南幌中出)

書記 芹沢愛優佳(北広島東部中出)
網川幸汰(江別第一中出)
斎藤優斗(江別中央中出)
竹内総良(江別江陽中出)

会計 山口晃汰(南幌中出)
中山祐輝(江別中央中出)
松井愛吏(江別第一中出)

見学旅行奈良・京都・大阪

10月25日から3泊4日の日程で行って来ました。初秋の風景の中、元気に見学や体験をしてきました。

奈良公園では鹿に追いかけられ、自主研修の京都では神社仏閣を廻りました。USJで一日楽しんだ後、大阪コリアタウンでは韓国語講座とキムチ作りを体験するなど思い出に残る旅行となりました。



南幌町企業見学会 (10月12日)

町内の3事業所にご協力をいただき実施しました。仕事に対する姿勢と責任について考えました。



進路別ガイダンス(10月14日)

大学や専門学校の進学担当者から直接に話しを聞くことで、進路イメージが広がります。



防災避難訓練 (10月7日)

火災からの避難と初期対応について学ぶことで、被害を最小限にする意識を高めました。



地域巡検(防災土木工事見学)

普段は近づけない土木工事の現場見学を行いました。今年は北海道各地で洪水被害が発生したことで、改めて千歳川遊水地の役割を学び防災意識を高めました。(11月8日)



体育祭 12月15日~16日

3年生にとっては最後となる体育祭が2日間にわたって開催されました。今回は、新種目の全校生徒を紅白に分けた5色綱引きを皮切りに学年対抗綱引き、バレーボール、バドミントン(個人・団体)、バスケットが行われました。学年の別なく各種目で熱戦が繰り広げられ、怪我もなく無事に終わることができました。教員チームも綱引きに参戦しましたが、惨敗に終わるなど終始和やかでした。



生徒会 リーダー研修会

後期生徒会役員となった人たちがこれからの南幌高校と生徒について検討しました。(11月15日)



薬物乱用防止教室

身近なところまで薬物の脅威が迫ってきています。自覚と正しい知識が自分を守ることを学びました。(10月20日)



赤い羽根共同募金

生徒会役員の人達を中心となって5日間募金活動を行い、総額9,112円の善意が集まり、南幌町共同募金会へ寄付しました。(12月14日)



不審者対策

【教職員校内研修】道警本部と栗山警察署の協力を得て、不審者対策の研修会を行い「備え」と「心構え」について研修しました。(11月30日)